

戦争の反省無く歴史を偽造する自民党議員

りょしゅう はずかし

生きて虜囚の辱めを受けず 戦陣訓で集団自決を強要

戦後80年 新しい戦前にしてはならない

京都の西田参議院議員の発言が問題になっています。ゴリゴリの靖国派で第2次世界大戦は正しい戦争だったと言っていることが彼の出发点。自民党議員からも支持は得られず、反省・取り消しは口にしたものの、右翼政党、参政党の神谷議員が賛同するという異常な状態になっています。

沖縄の闘いは住民を守るのではなく、本土決戦を1日も遅らす防波堤のためで、兵員不足を補うため県民を総動員、中学・高校生まで使い、ひめゆり部隊と言われるように女子は兵隊の看護に、男子は伝令や資材運搬などに使い戦況不利となれば、部隊を解散、

住民を戦場に放置し、逃げ惑うことで多くの住民が亡くなり、沖縄県民全体で4分の1が亡くなりました。捕虜になれば軍隊の情報が漏れることを恐れ、「戦陣訓」で「生きて虜囚の辱めを受けず」と住民にも自殺することを強要し、助かる命を認めませんでした。

今も南西諸島に自衛隊のミサイル基地が建設されています。

二度と沖縄の悲劇を繰り返さないためにも憲法の趣旨に沿う政治にしていく必要があります。

日本国憲法前文

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基づくものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。日本国民は、恒久の平和を念

願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。日本国民は、国家の名譽にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。

戦争反対 5月19日戦争法廃止宣伝

アメリカ言いなりで軍拡進める石破政権、集团的自衛権で日本をアメリカの戦争に引きずり込む、戦争法を廃止させましょう

5月19日(月)

午後5時〜5時30分

阪急桂駅西口

よびかけ

西京九条の会連絡会・洛西平和ネット

午後6時30分から市役所前で街頭演説とテモも行われます。

洛西生協前スタンディング

20日行動に参加を

5月29日(木) 午後4時から4時30分

境谷本通 福西東通 生協角

主催 洛西平和ネット

今も続くアベ政治 戦争法10年



洛西平和ネット

発行 2025年5月15日

事務局連絡先TEL 0900-78806-12430

◎無駄な公共事業を中止して震災被災者救援に全力を挙げよ。

